

平成 30 年度 国際理解ワークショップ 進行シート

作成日： 2018 年 7 月 18 日

大学名： 新潟大学

タイトル： それって本当に運命の人？～世界の結婚から考える～

1：本ワークショップの要旨

近年、異文化を理解することや多文化共生を尊重することが重要視されるようになってきている。このワークショップでは、さまざまな国の結婚の形式を紹介し、日本との形式の違いを知ってもらう。そして、どのような結婚の形式が良いか考えてもらうことで異文化理解・多文化共生につなげる。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

世界の特徴的な結婚の形式を理解し、日本との文化や歴史背景の違いを学んだうえで、日本が抱える結婚に関する社会課題について考え、意見を発表してもらう。この活動を通して、多様な結婚の形式があることを理解し、世界の異文化にはその背景に伝統や文化、宗教などが影響していることを考察させる。

3：本トピックをとりあげる理由

近年、夫婦別姓やLGBTが社会問題として取り上げられることが多くなった。世界にはさまざまな結婚の形式があり、日本とは異なる部分が多くある。これらについて理解し、課題の解決策をグループで考えることで、違う人の意見を聞く力や社会課題の問題点を捉え解決策を考えることができる力の獲得を目指す。

4：活動過程 (使用時間： 90 分 参加人数：)

| 過程 (所要時間) | 活動内容 | 具体的な発問・ 説明・動きなど | ねらい | 使用する 教材・備品 | 予想される反応、 その他注意事項 |
|-----------------|--------|--------------------|-------------------|---|-------------------------|
| 導入 :起 (10分) | テーマの紹介 | 異文化理解・多文化共生の説明 | 本ワークショップの課題を共有する。 | スライド(PPT) 世界地図(黒板 またはホワイト ボードに貼り付 ける) | 外国につながりをもつ児童がいる場合は配慮する。 |

| | | | | | |
|-----------------------|-------------------------------------|--|---|---------------------------|---|
| <p>展開：承 (35分)</p> | <p>内容理解「世界の結婚の仕組みとは？」</p> <p>休憩</p> | <p>世界にある結婚の形式を文化や歴史を踏まえて紹介する。(複数のテーマで紹介する。例：夫婦別姓・LGBT)</p> | <p>議論できるための知識をつける。日本が抱える結婚に関する課題を理解してもらう。</p> | <p>スライド(PPT) 写真資料</p> | <p>自分たちの意見が入り込まないようにする。のちの話し合いに影響がでないようにするため。</p> |
|-----------------------|-------------------------------------|--|---|---------------------------|---|

| | | | | | |
|---------------------------|--|---|---|--------------------------------|--|
| <p>発 展 : 転 (35分)</p> | <p>グループワーク 「こんな仕組み にしたらどうだ ろう」</p> | <p>グループごとにテ ーマ（日本が抱え る結婚についての 課題：夫婦別姓・ 同姓、同性婚、国 際結婚等）を与え、 そのテーマについ て意見交換をして もらう。 その後、グループ で出た意見を共有 するために全体で 発表する。</p> | <p>それぞれの立場 で意見交換をし てもらおう。男性 と女性との意見 の違いが出たと きに気づきがあ ってほしい。他 国の形式を知っ た上での日本に あった意見を考 えてもらう。 想像力・自分の 考えを発信する 力・意見を調整 する力を鍛えて もらう。</p> | <p>ポストイット 模造紙 筆記用具</p> | <p>特定の児童だけが 意見を言うことが ないよう、ファシリ テーターはすべて の児童に意見を出 してもらえるよう 気をつける。また、 ファシリテーター は児童の自由な発 想を尊重する。意見 がうまくまとまる ような支援を行う。</p> |
| <p>まとめ : 結 (10分)</p> | <p>感想 (時間があれば 他のグループに 対するアドバイ スを求める)</p> | <p>何人かの生徒に今 回のワークショッ プの感想(または アドバイス)を発 表してもらう。</p> | | | |

5：会場のセッティング

5～6人の班を作ってグループワークを行いたいと思います。机があればメンバーで囲めるような配置にする。各班に1人ファシリテーターが入る。

6：使用する教材

7：参考にした資料

8：その他

外国に繋がりをもつ児童がいる場合はお知らせください。
また、LGBTを取り上げる際に注意が必要な特徴を持つ児童がいる場合もお知らせください。